

## 重点項目① 新たな西成区の地域福祉推進体制(つたえる、つくる)

### ◆気にかける・つながる・支え合うために

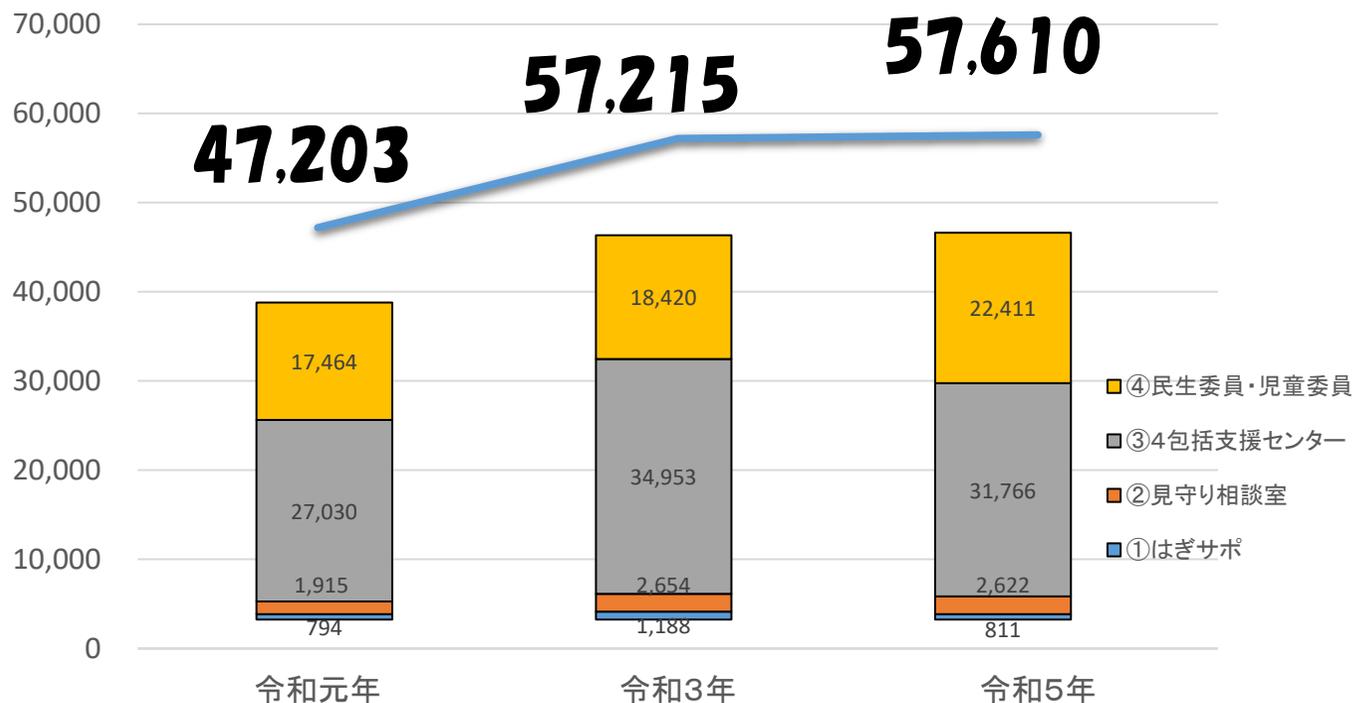
地域の気づきと  
相談窓口・専門職とをつなぐパイプ役



地域と連携する窓口(かけはし)の充実

### 主な相談先と相談件数

(※延べ件数・本人からの相談も含む)



まとめ

主な相談先への相談件数から、相談先の周知ができていること、ある程度の相談内容は地域内で解決されていると考えられる。地域と連携する窓口(かけはし)は充実しつつある。



現在の取り組みを継続して実施し、さらなる充実を図る。

## 重点項目② 地域福祉活動への参加促進と担い手の確保(一緒にすすめる)

### ◆地域活動へ参加するためのきっかけづくり

e(イー)スポーツ体験会の様子



地域のボッチャ活動の様子



○令和5年度 参加数:194人(令和4年度:15人)

○令和7年3月 e(イー)スポーツ大会を予定

○ボッチャ人口の増加;小中学校・町会未加入グループなど

○障がい者地域自立支援協議会:12チーム

○第2回ジャガピー杯ボッチャ大会:予選18チーム 決勝24チーム

#### まとめ

- eスポーツは男性の参加率が高く、新たな参加機会として有効な活動であると考えられる。
- ボッチャは、住民同士の自主的な活動が活発化しており、ボッチャサポーター養成講座の参加者も多い。



参加者の多くは高齢者であるため、世代間・地域間など相互の交流や、担い手創出への「しかけづくり」の検討を行っていく。

## 重点項目② 地域福祉活動への参加促進と担い手の確保(一緒にすすめる)

### ◆ 同じ地域で生活する外国人住民とつながるために

令和6年11月30日に地域福祉フォーラムを開催  
→多文化共生フェスタinにしなりと同時開催

- ・参加者:93人(20~90代)  
アンケート回答者:54人(うち西成区居住者 34人)
- ・「ためになった」と回答した人数:47人

(自由意見から抜粋)

- ・外国人のおかれている状況がわかった。
- ・最終的には町内会活動に参加してほしいと思う
- ・仲良く住めたらいいな~と思う。まずは声かけかな~
- ・多文化を支えるまちの力を感しました
- ・西成は異文化交流の最先端、おもしろい
- ・あいさつをする程度から話すようになっていけば良い

西成区地域福祉フォーラム  
いろいろな人がいるからおもしろい!  
~共に支え合う地域づくりをめざして~

西成区は多国籍でいるいるな在留資格、日本語学習キャリアをもった方がミックスして居住しているまちです。その実情を紹介しながら、地域で共に暮らすとはどういうことか、一緒に考えます。

**日時** 令和6年11月30日(土)  
午前10時30分~(開場:午前10時)

**場所** 西成区民センター 1階ホール  
西成区岸里1-1-50

**内容**

- 講演  
『西成区在住外国人との日本語での交流とは?』  
講師:水内 俊雄(みずうち としお)氏  
大阪公立大学客員教授(文学研究科地理学)  
2013年より西成特区構想有識者として、就労、福祉、にぎわい、まちづくり担当。  
大学退職後、2022年より西成労働福祉センターに勤務し外国人雇用支援担当。
- ミニワークショップ  
「やさしいにほんご」って知っていますか?  
講師:公益財団法人大阪国際交流センター
- パネルディスカッション  
日本に住む外国人住民って  
どんなことを感じながら生活しているの?  
生の声を聞いてみよう!

<同日開催>  
多文化共生フェスタinにしなり  
午後1時より!  
西成区民センターにて

各国のお菓子試食もできるらしいで!  
この機会に世界を感じていってな~!

**申込不要** **参加費無料** **手話通訳・要約筆記あり**

**主催** 西成区地域福祉推進会議(事務局:西成区役所、西成区社会福祉協議会)

**お問い合わせ** 西成区役所保健福祉課(地域福祉担当) TEL:06-6659-9857  
大阪市西成区社会福祉協議会(見守り相談室) TEL:06-4967-4682

### まとめ

幅広い世代の参加があり、外国人住民について、  
世代を超えて関心を持っていると考えられる。



- ・引き続き、多文化共生に関する内容をテーマとして開催を検討する。
- ・来年度も、同様の時期での開催を検討する。

## 重点項目④ 複合的な課題を抱えた人への支援体制の構築(支援する)

### ◆情報発信することで、さらなる多職種連携をめざす

- ・精神保健福祉連携部会(R6.5.21)
- ・生活保護担当新任研修会(R6.5.30)
- ・西成区障がい者自立生活支援調整協議会 相談支援部会(R6.11.25)
- ・西成区南ブロックケアマネジャー勉強会(R6.11.27)



### ◆相談内容の傾向をもとに、関心を高め早期発見と対応策への気づきをはかる

- ①「不登校・若者のひきこもり支援」(R6.11.20)
  - ②「すぐに役立つ支援のコツ！セルフネグレクト」(R7.1.24)
- ・生活困窮事業とともに、区役所全職員に対し感度向上e-ラーニング研修(R6.7.4～12.31)

【アンケート結果】(※原文のまま掲載しています。)

- ①「良い」36/39人:親支援の重要性について再確認できた、引きこもり支援の考え方・認識が変わった、他
- ②「理解できた」53/53人:ゴミ屋敷を片付けることがゴールではなく人とつながること、他

令和6年度10月末現在  
 「つながる場」相談件数 : 19件  
 開催件数 : 5件  
 参加者数 : 44人

R2	R3	R4	R5
12件	13件	25件	24件
6件	5件	9件	10件
85人	79人	101人	107人

#### まとめ

- ・相談の多い事例に関する研修は満足度が高い。
- ・研修会の参加者層をさらに増やす必要がある。



- ・支援者間のさらなる連携とスキルアップを図る。
- ・民生委員等に対し事業の周知を行い、協力者を増やしていく。

## 重点項目③ 要援護者の発見と地域における見守り体制の強化(支える体制をつくる)

## 重点項目⑤ 地域の生活課題の解決や自分達の住む地域を「考える」場づくり支援

<共通テーマ:要援護者名簿の活用と地域の見守りについてみんなで考える>

日常生活や災害時において、  
何らかの支援が必要な人の名簿

### ◆要援護者名簿をもとにした個別避難計画の作成

- ➡介護事業者(ケアマネジャー)の協力
- ➡要介護5の世帯を優先的にアプローチ



### ◆要援護者名簿(西成つながり名簿)の活用に向けて

- ◎1回/年 更新した要援護者名簿を地域に提供する
- ◎地域から名簿に関する情報提供を受ける
- ◎地域の取組状況などを聞き取る・話し合う

- Office SONOZAKI代表 園崎 秀治氏  
(災害に備えた支援等に関するアドバイザー)  
と要援護者名簿の活用について意見交換会の実施

### まとめ

個別避難計画作成に向けた、  
地域にある介護事業者の協力状況は良好。



現在の取り組みを継続し、地域との連携を深めていく。

連携協定を新たに締結するなど、  
名簿に対する地域の関心は広がっている。



引き続き、要援護者名簿の活用について、  
地域と連携を図っていく。

**重点項目⑤ 各地域での取り組み状況****岸里地域**

- ◆各町会長による要援護者名簿の活用についての話し合い  
➔名簿の管理方法、町会加入者の見守りと情報更新を確認 <継続中>

**松之宮地域**

- ◆各町会長が担当町会の要援護者名簿を管理(令和7年1月～) <継続中>

**橋地域**

- ◆要援護者名簿を活用した訪問活動  
➔今後の活用を、町会長が中心となり地域で考える <継続中>

**今宮地域**

- ◆各民生委員が担当町会の要援護者名簿を管理(令和6年11月～)

**飛田地域**

- ◆民生委員が、要援護者名簿を活用し家庭訪問を実施  
➔民生委員と見守り相談室・包括支援センター・ランチが協力し、地域内のマンションを個別訪問し状況の把握を行う

**津守地域**

- ◆10月10日に「防災に関するお話」として実施(町会未加入地域)  
➔町内の情報発信・居場所と見守りを兼ねる場として検討中 <継続中>
- ◆災害時を見据えた見守り活動を、1町会でモデル実施 <継続中>